

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	社会通信教育の振興		事業開始年度	昭和24年度		作成責任者
担当部局庁	生涯学習政策局		担当課室	生涯学習推進課		生涯学習推進課長 藤野公之
会計区分	一般会計		上位政策	生涯を通じた学習機会の拡大		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	社会教育法第49条～第57条		関係する計 画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画(平成20年7月1日) ・中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」(平成20年2月) 		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<p>社会通信教育は時間的、地理的制約を受けることなく、各人の自発的意思により、だれもが自由に利用できる学習システムであり、社会人等に対する学習機会として大きな位置を占めている。 学校又は一般社団法人若しくは一般財団法人の行う通信教育で、社会教育上奨励すべきものを認定し、その普及を図る。</p>					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>平成21年度においては、申請のあった通信教育について教材の審査・認定等を行う。また、受講者を集めて受講者研究集会を実施するほか、優れた成績で修了した者に対して表彰を行うことで、社会通信教育の受講者の学習意欲及び学習効果を高める。</p>					
実施状況	<p>平成21年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3課程を認定、2課程の内容を変更、5課程を廃止。 ・受講者数は約7万4千人。 ・4月24日に第60回文部科学省認定社会通信教育修了者表彰式を開催し、優れた成績で修了した者77人を表彰。 ・11月1日及び11月3日に受講者研究集会を実施。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5(5)	5(5)	5(5)	5	-
	執行額	4	3	1		
	執行率	80.0%(80.0%)	60.0%(60.0%)	20.0%(20.0%)		
	総事業費(執行ベース)	4	3	1		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	<p>本事業の実施に当たっては、文部科学省が直接に業者等から物品の購入などを行って進めるものであり、契約等に基づき他者に執行を委託等するものではない。そのため、執行の際は、本事業の担当課のみならず、担当課が属する局の筆頭課の確認等を経て、複数の部局で確認・執行しており、支出先や用途については十分に把握できている。</p>				
	見直しの 余地	<p>平成21年度においては、購入物品や契約等の見直し等から不用額が多いところであるが、本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度等を考慮しながら適切な予算設計を図り、社会通信教育の質や活動の適正さ等を担保し、普及すること等によって、さらなる施策の推進等に努める必要がある。</p>				
予算 チームの 監視・ 効率化 の所見	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、学校または公益法人の行う通信教育で、社会教育上奨励すべきものを認定しその普及を図る事業であり、長期継続事業及び予算執行(不用)の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、昭和24年度以降長期に継続している事業であるが、これまでの事業の成果の検証をすべきである。また、毎年度恒常的に不用を生じていることから、事業をいったん廃止し、事業の必要性や内容を再検討すべきである。</p>					
補記						

(A)文部科学省
<1.2百万円>

教材の審査・認定等、表彰式及び
受講者研究集会の開催

(※百万円以上の契約無し)

諸謝金 0.9百万円
委員等旅費 0.1百万円
庁費 0.2百万円

}を含む

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金	0.9			
委員等旅費	会議出席旅費	0.1			
庁費	印刷製本費	0.2			
計		1.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)